

修士論文（要旨）  
2023年1月

家族支援と自己効力感が高齢者の ICT 利用に与える影響

指導：杉澤 秀博 教授

国際学術研究科  
国際学術専攻  
老年学学位プログラム  
221J5012  
LIU SIYU

Master's Thesis(Abstract)  
January 2023

The Influence of family support and self-efficacy on ICT using among older adults

Lin Siyu

221J5012

Master of Arts Program in Gerontology

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Hidehiro Sugisawa

## 目次

|                   |   |
|-------------------|---|
| 第1章 緒言            | 1 |
| 1.1 研究背景と重要性      | 1 |
| 1.2 先行研究の到達点と課題   | 1 |
| 1.2.1 欧米の研究の到達点   | 1 |
| 1.2.2 日本の研究の到達点   | 2 |
| 1.2.3 中国の研究の到達点   | 3 |
| 1.2.4 先行研究に残された課題 | 3 |
| 1.3 本研究の目的と意義     | 4 |
| 1.4 本研究の仮説と各概念の意義 | 4 |
| 第2章 研究方法          | 5 |
| 2.1 調査対象とデータの収集方法 | 5 |
| 2.2 分析項目とスコアの方法   | 5 |
| (1) 従属変数          | 5 |
| (2) 独立変数          | 6 |
| (3) 調整変数          | 7 |
| 2.3 分析方法          | 7 |
| 2.4 研究倫理          | 8 |
| 第3章 研究結果          | 8 |
| 3.1 分析対象者の特性      | 8 |
| 3.2 重回帰分析         | 8 |
| 3.3 媒介分析の結果       | 9 |
| 第4章 考察            | 9 |
| 謝辞                | 9 |

参考文献

資料

## 1 緒言

### 1.1 研究背景

ここ数年、通信技術の発達のため、様々な生活活動がオンラインで行われ、人々のライフスタイルが変わってきた。しかし、中国のインターネット発展状況統計報告書によると、2022年では全人口に占めるネットユーザーの割合が74.4%に達しているものの、60歳以上の利用者は僅か6.7%であり、高齢者のICT利用率が低いことが明らかにされている（国家国務院11月24日の発表）。したがって、高齢者が新しい時代に適応し、幸せな老後生活を送るためには、高齢者の間でインターネットの利用を増進する必要がある。

### 1.2 既存研究と残った課題

既存研究では、年齢、性という基本属性、身体機能という身体的要因、積極的な態度と自信を持っているという心理的要因、収入、学歴という社会経済的要因がICT利用に影響しているが明らかにされている。しかし、既存研究では次のような課題が残されている。第1に、限られた要因のみを取り上げ、その影響を分析しているのみであり、心理的要因と社会的要因の両方を取り上げ、その要因間の関連性をモデル化した研究がほとんどない。第2には、中国の研究では、理論研究が多く実証研究が少ない。

### 1.3 本研究の目的と仮説

本研究の目的は、社会的要因である家族からの支援と心理的要因である自己効力感が高齢者のICT利用にどう影響するかを分析することである。

仮説1：家族の教える支援が多い高齢者は高齢者のICT利用が高い。

仮説2：家族の代行的な支援は高齢者のICT利用を低くする。

仮説3：利用意欲が高い高齢者はICT利用頻度が高い。

仮説4：ICT利用効力感が高い高齢者はICT利用頻度が高い。

仮説5：ICT家族の教える支援が多い高齢者でICT利用が高いのは、ICT自己効力感を媒介要因とした間接効果である。

## 2 研究方法

### 2.1 調査対象とデータ収集方法

中国浙江省舟山市に居住する高者（60歳以上）250人を対象とした。対象者の抽出は研究者個人のネットワークを利用し、舟山市の地域3ヶ所（嵊泗、定海、臨城）から調査可能な男女250人を紹介してもらった。2022年9月19日～10月7日まで自記式調査票を訪問で配布・回収した（有効回収率は85.6%であった）。

### 2.2 分析項目

(1) 従属変数：ICT利用頻度

(2) 独立変数：①インターネット利用の家族支援（家族の学習支援、家族の代行支援）、②ICT利用の自己効力感、③ICTの利用意欲。

(3) 調整変数：①年齢、②性別、③就学年数、④婚姻状況、⑤世帯構成、⑥夫婦の月収、⑦視力、⑧手指の動き、⑨活動能力(IADL)、⑩インターネット回線の有無、⑪ITC機器の保有の有無。

## 2.3 分析方法

仮説1～4については、ICT利用頻度を従属変数として、ICT利用の自己効力感、ICT利用利用意欲、家族によるICTの学習支援とITCの代行支援、調整変数を独立変数として投入し、重回帰分析を行ない、ICT利用頻度への影響を評価した。分析には統計ソフトSPSS26.0 for Windowsを用いた。

仮説5については、ICT自己効力感を媒介要因として位置づけ、それが学習支援のICT利用に対する間接効果の有無について分析を行った。分析にはAndrew F. Hayesによって開発された媒介分析のPROCESSマクロを用いた。

## 3 結果

相関分析の結果、「収入」「視力」「手、腕の動き」「IADL」「インターネット回線の有無」「ITC機器の保有の有無」が「ICT利用頻度」と有意な正の相関関係がみられた。「年齢」と「ICTの利用頻度」の間には負の相関関係がみられた。

重回帰分析では、「ICT利用の自己効力感」が高い人では、ICTの利用頻度が高かった。ICTの学習支援とICTの代行支援のいずれも高い方がICT利用頻度が高かった。以上の結果は、仮説の1、3、4を支持するものであったが、仮説2は支持していなかった。

媒介分析の結果、ICT利用の自己効力感は家族の学習支援と高齢者のICT利用頻度を有意に媒介していたことから、仮説5を支持する結果が得られた。

## 4 考察

本研究では、心理的要因であるICT利用の自己効力感とICT利用の意欲については、それぞれICTの利用頻度を有意に高くことと関連しており、仮説を支持する結果であった。社会的要因については、家族からの学習支援については、利用頻度を有意に高めるとともに、その効果はICT利用の自己効力感の向上を媒介としていることも明らかにされた。これらの結果についても、仮説を支持する結果であった。しかし、家族による代行支援については、利用頻度を有意に高めるように作用しており、仮説とは異なる結果であった。

家族による代行支援について仮説が支持されなかった理由には次のようなことが考えられる。Grošelj (2022) と Dolničar (2017) の研究については、本研究の結果と同じように、家族による代行支援も高齢者のインターネット利用を推進することを明らかにしている。そして、その理由として、家族による代行支援であっても高齢者がインターネットに触れ、利用方法を習得する多くの機会が提供されることで、ICT利用が促進されるという説明をしている。しかし、代行支援によってなぜICT利用が促されるのかについて、家族などから代行支援を受けている高齢者を対象とした質的研究を行うことで実証的に解明することが必要である。

本研究の限界と今後の課題については以下の通りである。第1に、分析対象者が限定されており、結果の一般化には慎重であることが必要である。本研究の分析対象者は、一般の高齢者と比較すると、前期高齢者が多く、就学年数も長く、経済にも余裕をもっている。さらに、女性が多く、健康状態も良好であった。このような特性は、ネット回線が自宅で利用でき、ICT機器の保有率も高いことと関連している。第2に、障害をもつ高齢者を対象とした研究の必要性である。障害のある高齢者こそICTを使って社会との交流を継続することが必要な人たちである。その人たちを対象としたICTの利用要因を明らかにし、それに基づき利

用の促進方法を提案することは喫緊の課題である。第3には、本研究では横断研究であり、特にICT利用の自己効力感やICTの利用意欲とICTの利用頻度との関連については、ICTを頻繫に利用した結果として、ICT利用の自己効力感やICTの利用意欲が高くなるという関係にある可能性もある。因果関係を特定するために、パネル研究を行う必要がある。

## 参考文献

- Álvarez-Dardet, S.M., Lara, B.L., & Pérez-Padilla, J.** (2020). Older adults and ICT adoption: Analysis of the use and attitudes toward computers in elderly Spanish people. *Computers in Human Behavior*, **110**, 106377.
- Anderson, M. and Perrin, A.** (2017) Tech adoption climbs among older adults. Pew Research Center: Internet, Science & Technology.  
<https://www.pewresearch.org/internet/2017/05/17/tech-adoption-climbs-among-older-adults/>
- Berkowsky, R.W., Sharit, J., & Czaja, S.J.** (2017). Factors predicting decisions about technology adoption among older adults. *Innovation in aging*, **1(3)**, igy002.
- Charness, N., & Boot, W.R.** (2009). Aging and information technology use: Potential and barriers. *Current directions in psychological science*, **18(5)**, 253-258.
- 陈勃, 樊国宝** (2013) 老年人传媒接触状况的调查与分析. *社会科学*, **1**, 68-74.
- Chu, R.J.C.** (2010) How family support and Internet self-efficacy influence the effects of e-learning among higher aged adults—Analyses of gender and age differences. *Computers & Education*, **55(1)**, 255-264.
- 陈佳琦** (2020) 我国老年群体互联网使用影响因素的分析. *赤峰学院学报(汉文哲学社会科学版)*, **41(04)**, 49-53.
- 程瀛** (2012) 老年人与数字鸿沟: 背景、现状与影响——对“老年人与互联网”的新闻报道内容的分析[J]. *新媒体与社会*, **2012(3)**, 225-244.
- Dolničar, V., Grošelj, D., Hrast, M.F., Vehovar, V., & Petrovčič, A.** (2018). The role of social support networks in proxy Internet use from the intergenerational solidarity perspective. *Telematics and Informatics*, **35(2)**, 305-317.
- 董明媛, 张琳** (2021) 社会网络、经济地位与老年人的“数字鸿沟”——基于CGSS2017数据的实证分析. *决策与信息*, **10**, 47-55.
- 董青杉** (2017). 基于众包的互联网自我效能与知识共创研究——任务复杂度的调节作用. 浙江工商大学. <https://kns.cnki.net/KCMS/detail/detail.aspx?dbname=CMFD201801&filename=1017229523.nh>
- 深谷 太郎, 小林 江里香, 杉澤 秀博, Jersey Liang, 秋山弘子** (2016) 高齢者の電子メールおよびインターネット利用に関連する要因." *老年社会科学*, **38(3)**, 319-328.
- Gell, N.M., Rosenberg, D.E., Demiris, G., LaCroix, A.Z., & Patel, K.V.** (2015). Patterns of technology use among older adults with and without disabilities. *The Gerontologist*, **55(3)**, 412-421.
- Grošelj, D., Reisdorf, B. C., Dolničar, V., & Petrovčič, A.** (2022). A decade of proxy internet use: The changing role of socio-demographics and family support in nonusers' indirect internet access to online services. *The Information Society*, 1-17.
- 国家国务院の高齢者ICT利用に対する困難解決の戦略 (2020年11月24日)  
[http://www.gov.cn/xinwen/2020-11/24/content\\_5563861.htm](http://www.gov.cn/xinwen/2020-11/24/content_5563861.htm)
- 黄鹏** (2021) 积极老龄化视野下城市老年人的智能手机使用研究. 西南民族大学,  
<https://kns.cnki.net/KCMS/detail/detail.aspx?dbname=CMFDTEMP&filename=1021849817.nh>
- Hayes, A.F., Montoya, A.K., & Rockwood, N.J.** (2017). The analysis of mechanisms and

- their contingencies: PROCESS versus structural equation modeling. *Australasian Marketing Journal (AMJ)*, **25(1)**, 76-81.
- 何铨,张湘笛(2017)老年人数字鸿沟的影响因素及社会融合策略[J].浙江工业大学学报(社会科学版), **16(04)**, 437-441.
- 侯建明,周文剑(2022)互联网使用对中国老年人健康状况的影响机理及异质性分析人口学刊,**44(03)**,73-87.インプレス: インターネット白書2012 (<http://iwparchives.jp/iwp2012,2015.6.25>).
- 季卿卿,范媛媛(2020)数字反哺对“95后”家庭关系的影响——以微信功能的使用为例.新媒体研究,**6(04)**,81-83,126.
- König,R.,Seifert,A.&Doh,M.(2018)Internet use among older Europeans: an analysis based on SHARE data. *Universal Access in the Information Society* **17**, 621–633
- Kurniawan,S.,Ellis,R.& Allaire,J(2002)The impact of Web self-efficacy, age, and Web experience on bookmark manipulation. *UAIS1*, 207–216.  
<https://doi.org/10.1007/s10209-002-0029-3>
- Leist,A.K.(2013). Social media use of older adults: a mini-review. *Gerontology*, **59(4)**, 378-384.
- Lelke(2012)Happier and less isolated: Internet use in old age. *Journal of Poverty and Social Justice*,**21(1)**,33–46.
- 劉錦(2018)代际传播的反哺研究(硕士学位论文,广西大学)  
<https://kns.cnki.net/KCMS/detail/detail.aspx?dbname=CMFD201901&filename=1018132947.nh>
- 水野一成(2018)シニアの ICT 利活用の検討に関する研究-「ライフスタイル」と「ICT 利活用」を軸にした社会調査より.新情報, **106**, 33-40.
- 彭青云(2018)城市老年人互联网接入障碍影响因素研究. 人口经济,**05**.74-82.
- 邱静(2021).新媒体时代农村家庭中的数字反哺——基于山东省汶上县军屯乡的实证研究. 新闻世界(**06**),44-48.
- Silver MP(2014) Socio-economic status over the lifecourse and Internet use in older adulthood.*Ageing and Society*,**34(6)**,019–1034.
- Smith,A.(2014).Older adults and technology use.Pew Research Center.Internet &American Life Project.
- 佐藤望(2008)高齢女性のインターネット使用に及ぼす生理・心理的要因の研究. 科学研究費補助金研究成果報告書,1-6.
- 宋佳琳(2021)强关系-弱关系视角下农村老年人智能手机使用影响因素研究. 文献与数据学报,**3(02)**.91-101.
- 総務省情報通信政策研究所(2009)インターネット利用の決定要因と利用実態に関する調査研究<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA89481296>
- 高所真理子(2015)スマートフォンスクール参加者の生活実態と教育効果—アクティブシニアの ICT 利活用による高齢社会の課題解決をめざして—標準化研究,Vol.13(1),107-121.
- Tsai, H.Y.S.,Shillair, R.,& Cotten,S.R.(2017). Social support and“playing around” an examination of how older adults acquire digital literacy with tablet computers. *Journal of Applied Gerontology*,**36(1)**,29-55.
- 和田裕一, 河野賢一(2015)高齢者のインターネット利用と主観的幸福感や孤独感との関連.



日本心理学会大会発表論文集日本心理学会第79回大会.公益社団法人日本心理学会,24.

**王辉**(2021)城市社区老年人数字融入影响机制.清华大学

DOI:10.27266/d.cnki.gqhau.2021.000167.

**王萍**(2010)新媒介使用对老年人生活质量的影响[J].理论界,10,186-188.

**王秀红,王兰兰,于晴**(2019)子女的支持与帮助对中老年人互联网使用的影响.绿色科技(07),278-280.DOI:10.16663/j.cnki.lskj.2019.07.118.

**Wong,Y.C.,Chen,H.,Lee,V.W.,Fung,J.Y.,& Law,C.K.**(2014).Empowerment of senior citizens via the learning of information and communication technology. Ageing International, 39(2),144-162.

**武佳,王永梅**(2021)我国老年人互联网使用现状及影响因素研究——基于CGSS 2017年数据的分析.老龄科学研究,9(09),43-58.

**吴新慧**(2017)老年人互联网应用及其影响研究——基于CSS (2013) 数据的分析.云南民族大学学报(哲学社会科学版),4,63-72.

**许肇然,胡安安**(2017)黄丽华国内外老年人互联网使用行为研究述评[J].图书情报工

作,20,140-148.徐晓雯,李泽臻,高琼 (2021)互联网使用影响老年人孤独感吗?——基于CHARLS数据的实证研究.山东财经大学学报,33(03),100-108+120.

**杨璐**(2020)中老年人互联网使用状况的影响因素研究——基于CHARLS数据.人口与社会,36(03),61-72.

**张硕**(2013)中国城市老年人电脑/互联网使用影响因素研究:基于北京市朝阳区的调查[J].国际新闻界,7,51-61.

**张未平,范君晖**(2019)老年数字鸿沟的社会支持体系构建.老龄科学研究,7(02),63-70.

**张晶晶**(2022)养老服务产业数字化转型的现实困境及优化路径选择[J].黑龙江人力资源和社会保障,(13),30-32.

**周姗姗**(2021)代际支持视角下数字反哺对中老年群体数字媒介使用的影响探究.广州大学.DOI:10.27040/d.cnki.ggzdu.2021.000702.